

岩手県感染症週報

平成22年第34週（8月23日～8月29日）

岩手県感染症情報センター

第34週の概要

1類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。

2類感染症 ・結核の報告が9例ありました。

3類感染症

・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡市地区から1例、県央地区から2例、奥州地区から1例の計4例の報告がありました。内訳は、大腸菌O157によるものが1例、大腸菌O26によるものが3例でした。今年これまでの報告総数は79例となっています。本年は、気温の高い傾向が続いていることから、食中毒の予防を徹底するとともに、ヒトからヒトへの二次感染を予防するため、石けんと流水を用いた手洗いの励行が重要です。

4類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（全数把握対象疾患） ・患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

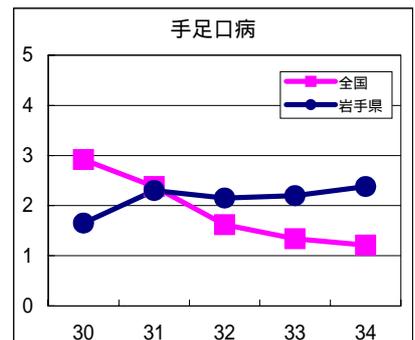
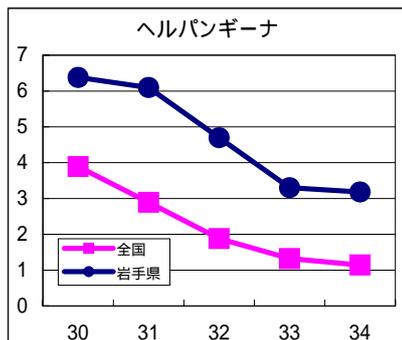
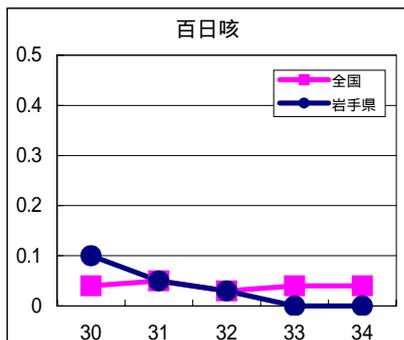
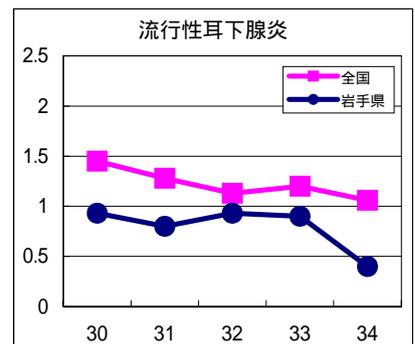
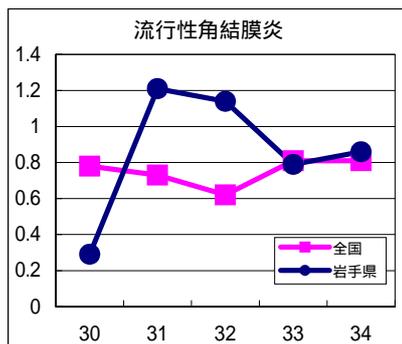
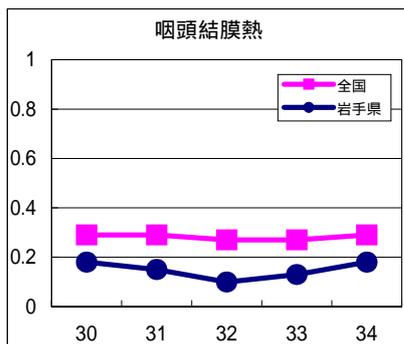
・手足口病は、前週より増加し、久慈地区では警報値（定点あたり患者数5人）を超えました。例年の同時期に比べやや多い状態となっています。

・ヘルパンギーナは、前週よりわずかに減少し、全ての地区で警報値（定点あたり患者数6人）を下回りました。

・インフルエンザは、大船渡地区より3例の報告があり、同地区における定点あたり患者数は0.5人となりました。報告のあった3例中1例については、検査が行われ、新型インフルエンザウイルスが検出されています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		30	31	32	33	34	
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0.05	→
	全国	0.02	0.03	0.04	0.03	0.03	
RSウイルス感染症	岩手県	0.18	0.1	0.05	0	0.05	→
	全国	0.06	0.07	0.07	0.07	0.09	
咽頭結膜熱	岩手県	0.18	0.15	0.1	0.13	0.18	→
	全国	0.29	0.29	0.27	0.27	0.29	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.18	0.25	0.18	0.28	0.35	→
	全国	0.69	0.61	0.46	0.49	0.52	
感染性胃腸炎	岩手県	1.38	1.75	1.03	1.38	1.75	→
	全国	2.98	2.89	2.4	2.74	3.01	
水痘	岩手県	2.05	0.48	1.05	0.53	0.53	→
	全国	1	0.76	0.71	0.63	0.6	
手足口病	岩手県	1.65	2.3	2.15	2.2	2.38	↗
	全国	2.92	2.38	1.62	1.34	1.21	
伝染性紅斑	岩手県	0	0.05	0.03	0.03	0.13	→
	全国	0.32	0.37	0.26	0.34	0.3	
突発性発疹	岩手県	0.5	0.5	0.33	0.28	0.48	→
	全国	0.64	0.71	0.56	0.66	0.74	
百日咳	岩手県	0.1	0.05	0.03	0	0	→
	全国	0.04	0.05	0.03	0.04	0.04	
ヘルパンギーナ	岩手県	6.38	6.1	4.7	3.3	3.18	→
	全国	3.89	2.89	1.88	1.32	1.14	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.93	0.8	0.93	0.9	0.4	→
	全国	1.45	1.28	1.13	1.2	1.06	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	1.21	1.14	0.79	0.86	→
	全国	0.78	0.73	0.62	0.81	0.81	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.01	0.02	0.02	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0.11	0.05	0	0.05	0	→
	全国	0.05	0.04	0.07	0.06	0.05	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.16	0.37	0.11	0.37	0.21	→
	全国	0.37	0.35	0.34	0.33	0.31	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0.05	0	→
	全国	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

	疾病名	(週)					累計	全国	
		30	31	32	33	34		34	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	結核	6	6	2	6	9	130	317	16416
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	6
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	7	121
	腸管出血性大腸菌感染症	6	13	20	7	4	79	232	2617
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	21
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	14
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	46
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	296
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	2	9
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	2	0	111
	デング熱	0	0	0	0	0	0	12	126
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	4	55
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	47
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	0	0	1	0	0	9	17	463
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	6
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

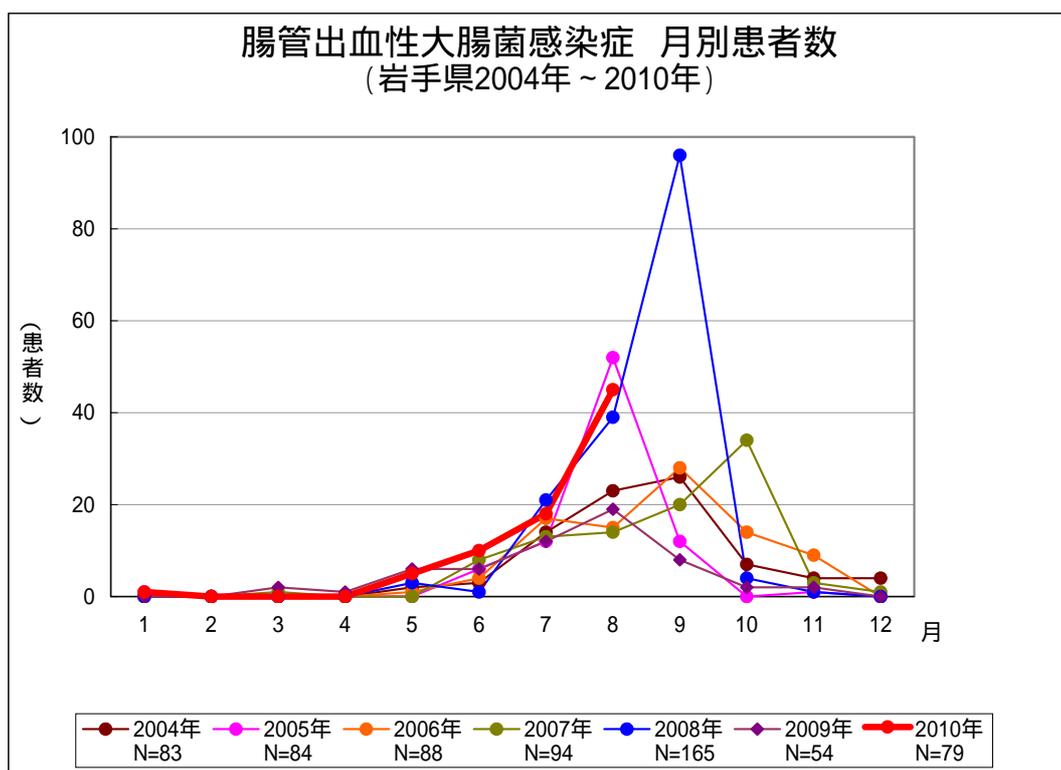
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		30	31	32	33	34		34	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	9	538
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	129
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	2	159
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	105
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	85
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	5	16	954
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	49
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	6
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	8	395
	破傷風	0	0	0	0	0	3	1	64
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	69
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	67
	麻しん	0	0	0	0	0	5	6	360

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第34週までに79例の患者が報告されています。性別では男性が35例、女性が44例であり、年齢層別では0～9歳が32例、10～19歳が18例、50～59歳が10例となっています。分離された大腸菌の血清群別では、O157が25例、O26が48例、O111が3例となっています。

毎年、夏季に患者の報告が多いので、食品の取り扱いには充分注意して食中毒対策と徹底するとともに、保育園等では、二次感染を予防するために手洗いの励行が重要です。

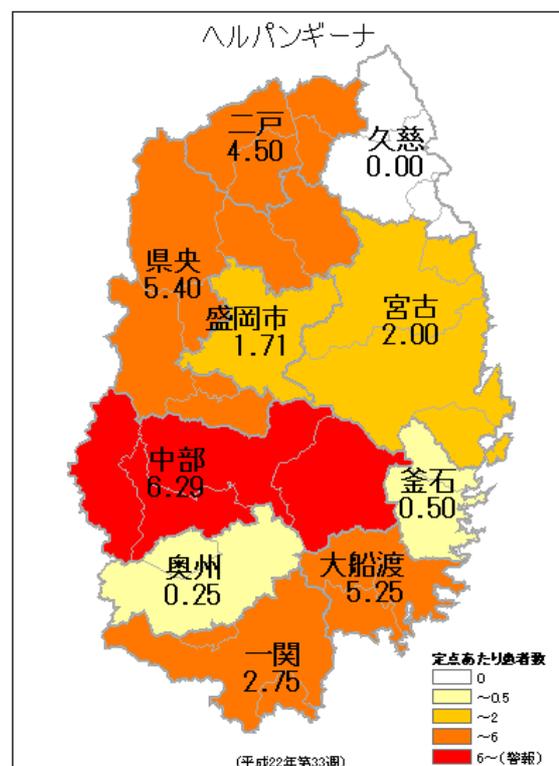
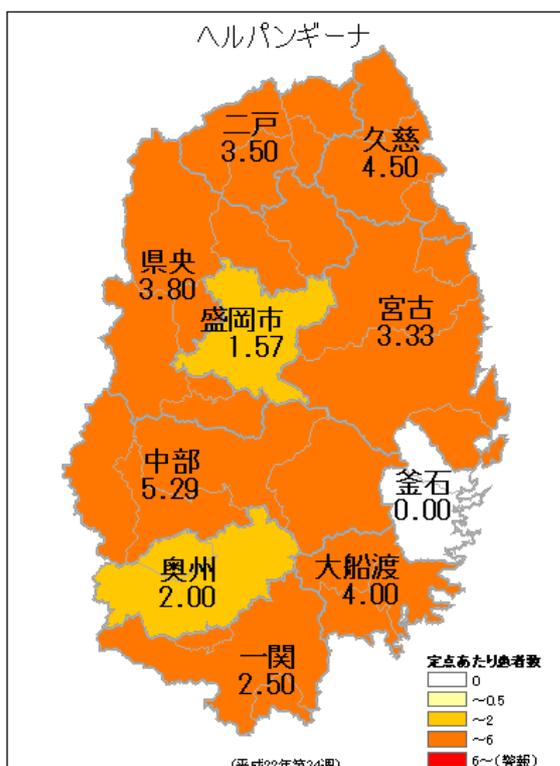
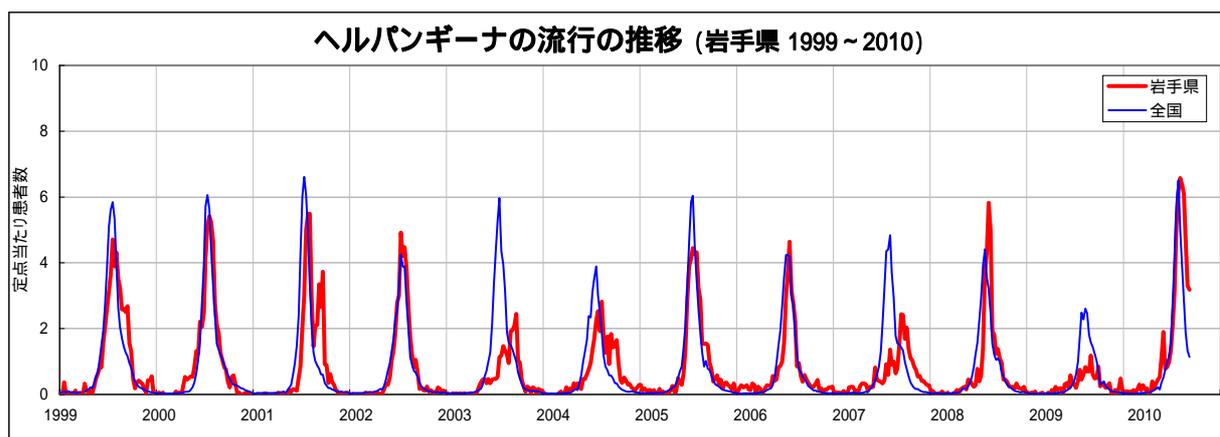


今注目の感染症（つづき）

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行する疾患です。

咳などによる飛沫感染のほか、便中にもウイルスは排出されます。保育園等では、十分な手洗いが重要です。



ヘルパンギーナ、定点あたり患者数、地区別
 左：第34週、右：第33週

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液から、インフルエンザウイルスAH1pdm（新型インフルエンザウイルス）を1件検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

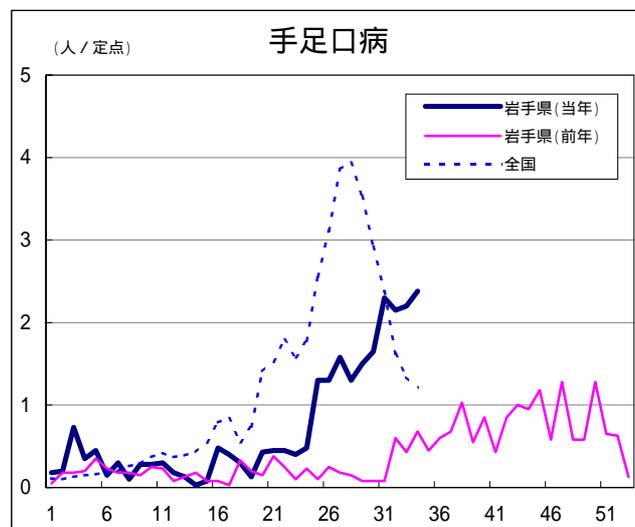
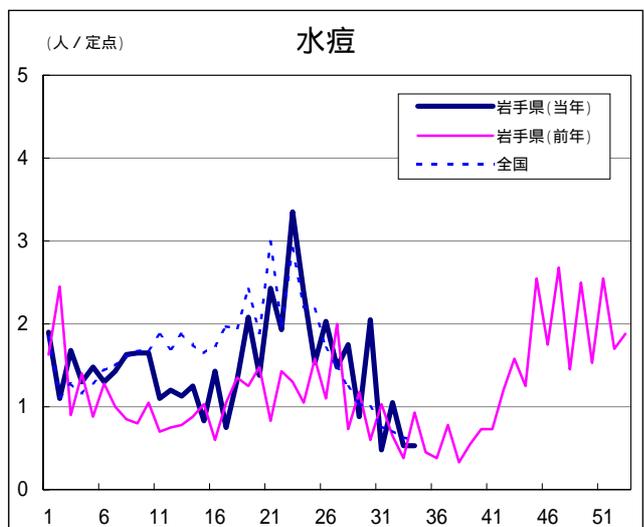
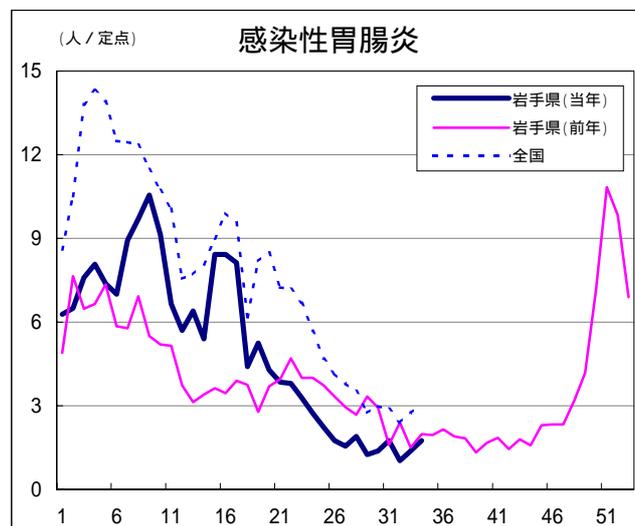
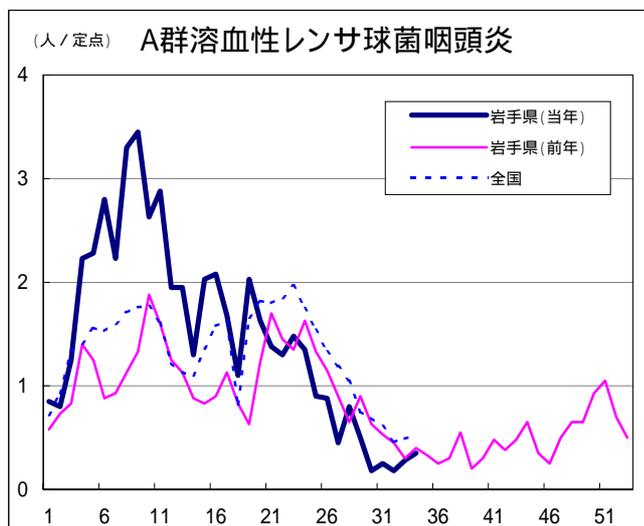
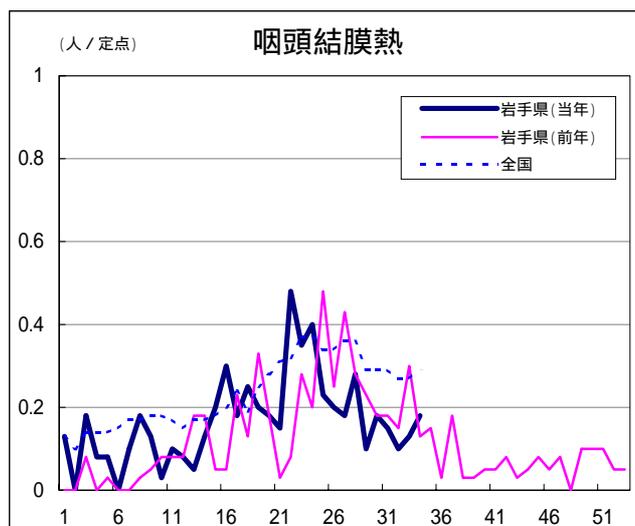
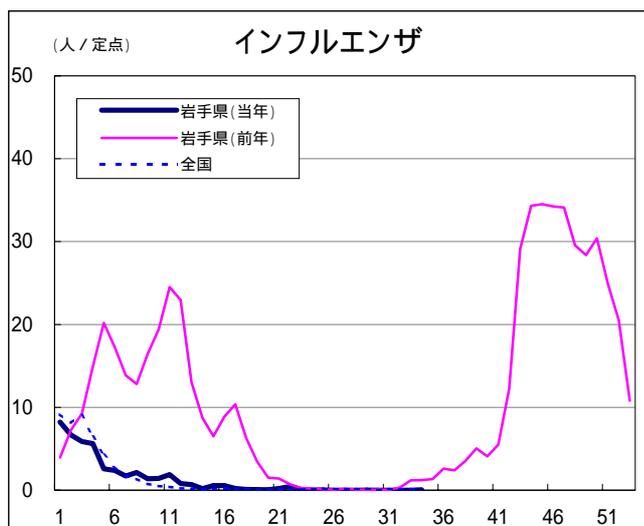
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

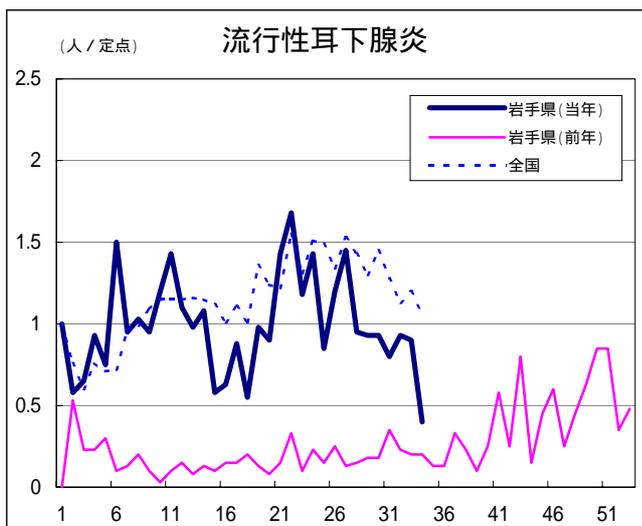
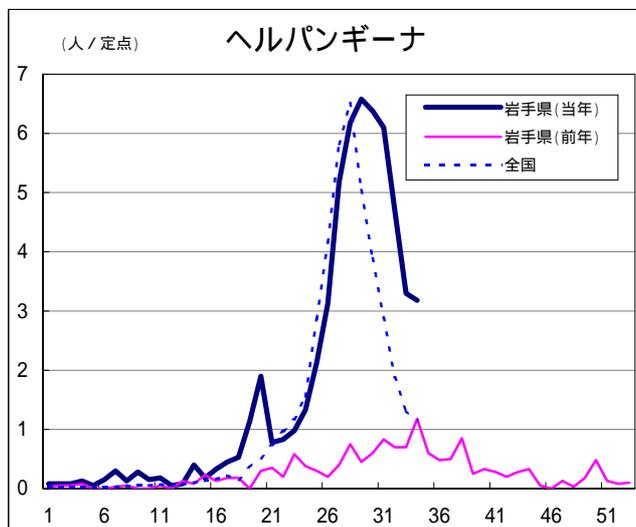
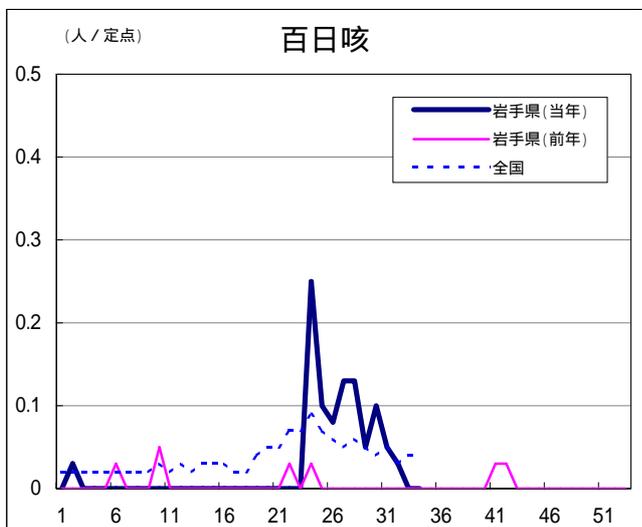
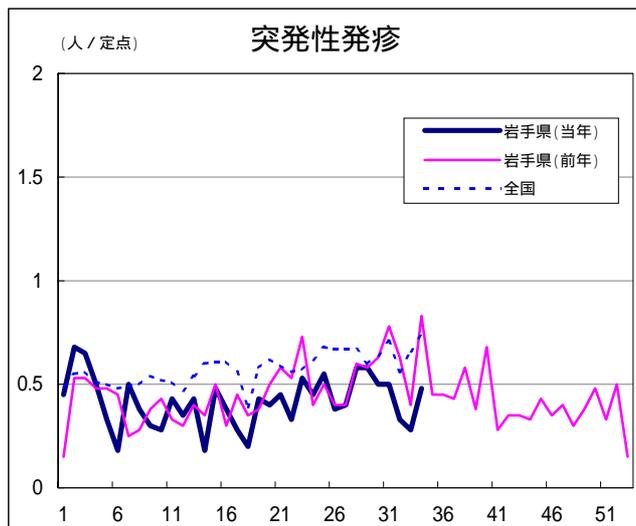
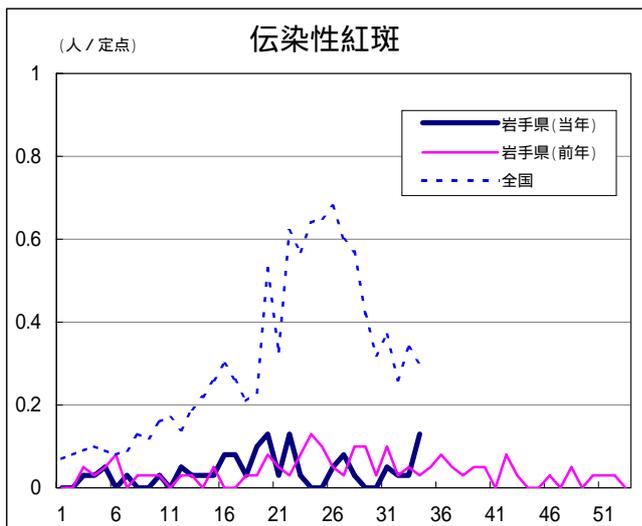
Q & A

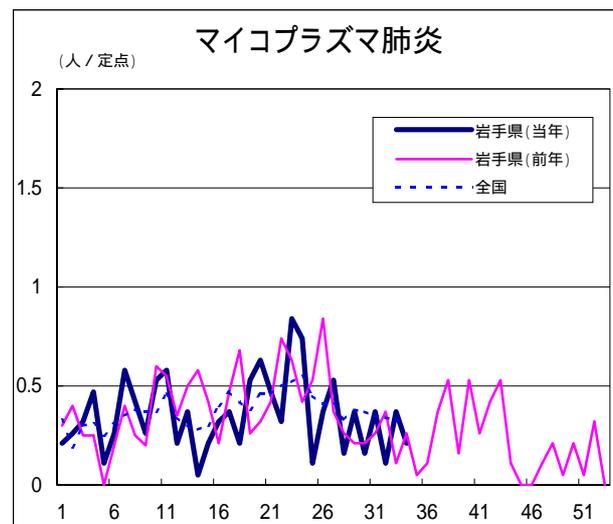
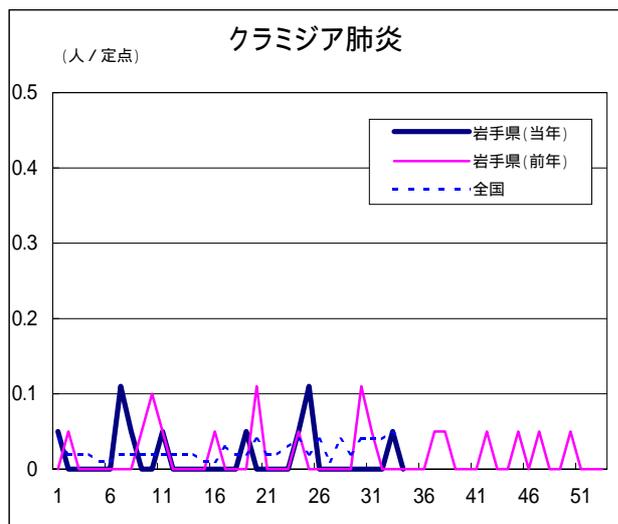
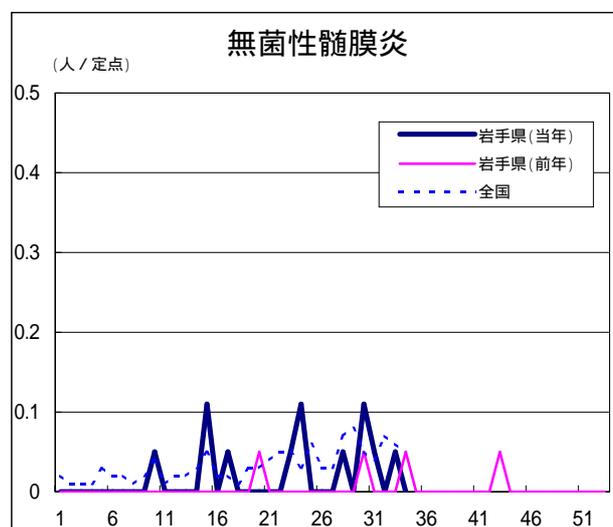
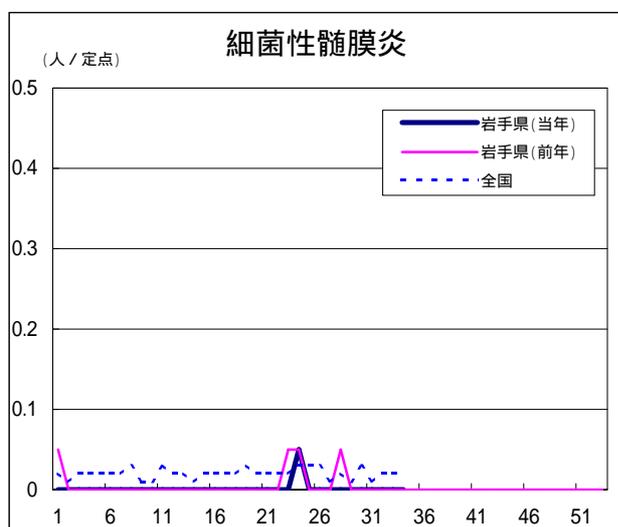
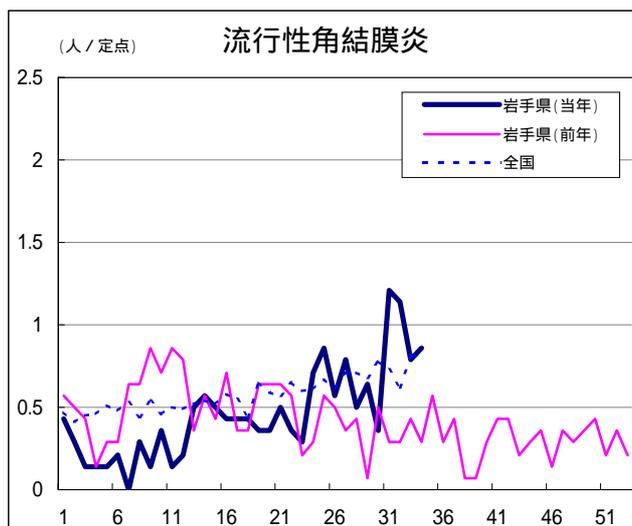
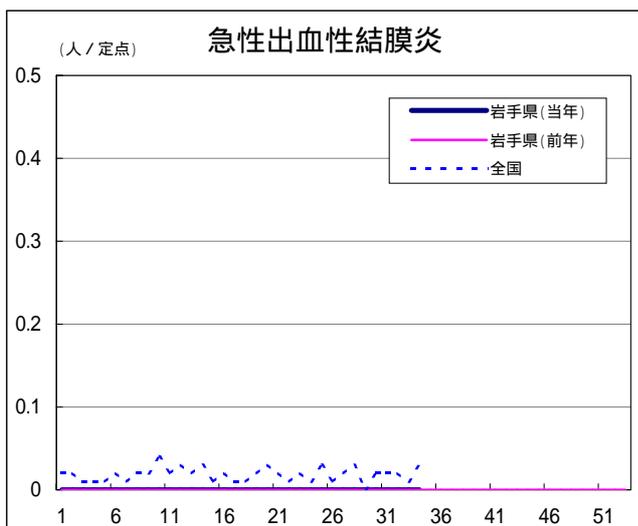
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/maimagazine.html>

岩手県感染症週報 平成22年第34週 平成22年9月3日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pn=17&pn=60&pn=345

<岩手県保健福祉部医療推進課>